



ヨコハマ市民まち普請事業

第一次提案書

- 注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
 注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
 注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	横浜永田・里山を守る会
現在の主な活動 内容・活動実績	●整備場所および近隣の地権者と里山保全について認識合わせ ●県土整備局 河川下水道部砂防海岸課に土砂災害警戒区域である整備場所の建築基準を確認 ●南区土木事務所が整備場所に接する横浜市道（保土ヶ谷244）を現地視察（6月4日実施）。●環境整備関係NPO3団体と面談情報連携 ●横浜国際プール竹林整備参加（6月1日実施） ●都筑中央公園の宮谷戸窯視察（5月31日実施）
提案場所	南区永田北二丁目1032番地および周辺山竹林
提案名 (25字以内)	横浜永田・里山整備ステーション
提案する施設 (どのような施設の提案ですか)	整備場所は第一種低層住居専用地域内に奇跡的に残された中規模の民有雑木竹林でその裾野に数百平米の草地が存在する。当該草地エリアに「里山整備ステーション施設」を提案する。 ● 横浜永田・里山整備ステーション（概要） 〔想定仕様〕 農業用倉庫兼作業場（50㎡程度）、中2階構造、屋根：折板ルーフ、外壁：角波カラー鋼板パネル〔想定機能〕①機材収容庫 ②炊事・トイレ施設（上下水道敷設）③懇談ルーム ④伐採竹処理用炭焼き窯 整備費用の概算額：約950万円
活用イメージ (提案する施設でどのようなことを行いますか)	里山整備ステーションを拠点に雑木竹林を整備する。あわせて竹林整備教室、炭焼き・燻製教室、竹籠・熊手製作教室、自然観察教室、ドッグラン（助成外で別途整備）での近所の飼い犬ドッグショー、たけのこ祭りなどを開催予定。将来にわたって里山の整備保全に関わるヒト・モノ・こころ・知恵が集まる仕組みの中核拠点として活用する。
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	山竹林が激しく荒廃しさまざまな危険が顕在化している。当該整備場所も高齢相続による所有者の遠隔地化・分散化・無関心化等により放置されたまま30年以上が経過し、樹木が近隣家屋に接触、大量の落葉や害虫の処理問題、豪雨降雪時の竹林倒壊・地滑り・山火事など災害リスク、不法投棄など治安リスクが懸念される。旧公団では田畑であったこの整備場所をもう一度人々が集う安心安全な居場所として復元し、その整備保全の仕組みを次世代に引き継ぎたい。
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	里山整備ステーションを拠点に誰でもいつでもこころの壁なく楽しみながら環境整備活動に参加することができる。地域住民が協力し主体的に環境整備活動をおこなうことで地域内にノウハウが蓄積され、持続的な雑木竹林保全が可能となる。他の商業地域等にはない自慢のユニークな手作り里山エリアをみんなで守る地域になる。困難や成功体験を通じて住民同士が活発に交流、防災面、治安面で安心安全な環境が醸成され、子育て世帯の流入、地域の人口バランスの回復、里山に抱かれた閑静な住宅街として地

	域の不動産価値の向上が期待される。独居高齢者を見守り、児童の感性を育むことで、世代交代が進んだ将来でも整備活動を通じてお隣の顔がわかる人情味溢れる安心安全な地域コミュニティが形成される。
整備時の協働 (つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)	●ヒト：整備場所地権者様の理解は得つつあり、隣接所有者様の山林整備ノウハウをベースとする。自治会長および北永田地区連合町内会会長に相談し掲示板やSNSを活用した広報をおこなう。初期整備メンバーは児童父兄や意識の高いリタイヤ世代を中心に声掛けし事後の成功体験を醸成する。今後環境整備関係NPO3団体と具体的な連携・協業内容について協議予定。 ●モノ：初期の竹林整備人員や機材は竹ファンの支援を仰ぎ、重機や産業廃棄物処理が必要な場合は近隣事業者様にも協力いただく(6/4挨拶済み)。炭焼窯(二次燃焼による無煙・無臭設計)は連携NPOを通じて設計者様に支援依頼予定。
運営時の協働 (運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4)に触れて説明してください)	●ヒト：横浜永田・里山を守る会の会長、副会長は町内会とも密接な関係にあり、当面は町内会施設である永田町上第5町内会館に準じた運営管理(施錠、電気・ガス・水道・公租公課など)を予定する。将来、守る会との協議を経てNPO法人が設立できる場合には、当該NPO法人が運営管理を受託する方法も検討する。 ●カネ：隣接地権者も同様に竹林整備に手を焼いていることから隣接竹林整備を有償受託、伐採竹の加工販売、導入予定の整備用機材(チップー等)レンタルによる売上とあわせ、将来的には他所の雑木竹林整備受託収入を目指す。②竹林整備教室、炭焼き・燻製教室、竹籠・熊手製作教室、自然観察教室、イベント(ドッグショー、たけのこ祭りなど)の収入。③協賛企業の獲得などを予定。
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	「助成金でハコモノを作りたい」という単純な応募動機ではありません。山林所有者の高齢相続、荒廃する山竹林、地域の諦め・無関心・他人事・役所任せといった連鎖を変え、自分の地域は自分が考え、自分が動き、自分が守る、やればできる主体的な取り組みにチャレンジします。今だけちょっと良くなればいいのではなく、将来にわたり里山整備保全のヒト・モノ・カネが循環する仕組み作りの一部として応募します。ここまでの人々との対話そのものがすでに大きな第一歩であると実感しています。

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
整備場所地権者：2名 6/4 現地視察立会い、方向性を協議 6/5 応募について説明	所有者の高齢化など自ら直接活用は困難、売却を試みたものの買い手不在。今回現地視察によって荒廃山竹林のリスクを認識した。ぜひ地域に貸与してご活用いただきたい。将来的に横浜市への寄附を検討している。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報含まれていません。

位置図(A4判1ページ)



現況写真



提案する横浜永田・里山整備ステーション（仮称）施設が拠点となって整備保全することとなる雑木竹林の東側斜面

整備対象地の入り口

近隣住居に襲い掛かる放置竹林



整備対象地の接道（市道保土ヶ谷244）





その他の資料(A4判1ページ)

●収支計画について(予定)

1. 整備時の収支イメージ(単位:千円) 2020年度			2. 運営時の収支イメージ(単位:千円、年間)					
収入	合計	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	当初5年間 合計
(内訳)	整備助成金	5,000						
	地区協力金	500						
	企業協賛金	1,000						
収入	合計	6,500	3,800	4,060	4,346	4,661	5,007	21,873
(内訳)	雑木竹林整備受託(整備場所)		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000 *a
	雑木竹林整備受託(近隣場所)		2,000	2,200	2,420	2,662	2,928	12,210 *b
	教室イベント売上(たけのご祭りなど)		300	330	363	399	439	1,832 *c
	製品販売(竹材、竹製品、竹炭)		300	330	363	399	439	1,832 *c
支出	合計	9,500	3,560	3,560	3,560	3,560	3,560	17,800
(内訳)	整備場所の更地化	2,000 *1	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000 *d
	設計、工事、工事監理費	5,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000 *e
	上下水道整備費	1,000	120	120	120	120	120	600
	活動費	100 *2	200	200	200	200	200	1,000
	竹林整備・農園用具一式	500 *3	200	200	200	200	200	1,000
	ドッグラン整備	100	40	40	40	40	40	200
	懇談ルーム備品一式	100 *4						
	炭焼き釜設計、工事	700 *5						
差引	(収入-支出)	-3,000	240	500	786	1,101	1,447	4,073

(備考)

- *1) 整備場所は荒地で廃棄物など散在するため更地化が必要
- *2) 整備期間中の事務費、交通費など
- *3) 安全用具(ヘルメット、のこぎりなど)やスコップ、鎌など
- *4) 簡単な調理道具、食器など
- *5) 都筑中央公園「宮谷戸窯」を参考に設計・構築予定

(備考)

- *a) 整備場所の地権者より整備を受託する
- *b) 整備場所の近隣周辺地権者より整備を受託、毎年前年比1割増を想定する(数値の千円未満は四捨五入)
- *c) イベント売上、製品販売は毎年前年比1割増を想定する(数値の千円未満は四捨五入)
- *d) 地権者に支払う借地代と地権者から受け取る竹林整備受託がほぼ相殺される内容で協議中
- *e) 基本的に整備作業は地区内ボランティアを集めるがNPO連携では委託費用が必要となる見込み

●当初5年間の全体見通しについて

整備時単年度では3百万円程度の赤字になるものの、運営フェーズ5年目(通算6年間トータル)に百万円程度の累積黒字を見込む。